

仕官録進纂

起南文

部

和書門			
四	三	二	一
八	八	四	一
六	八	六	二
類	號	函	冊

内閣文庫			
五	四	二	一
函	二	三	一
九	九	八	二
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 42386
冊數	29(29)
函號	152 78



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



白紙のページが続く箇所があり、白紙箇所は省略



歷代仕官

卷之六



日出處之部

淺草文庫

寛政八丙辰年

寛政十一年申年



寛政八丙辰年
二月廿五日

寛政八丙辰年

二月廿五日

一 本館所定之簿本之類あり久保吉右衛門 字元死罪

一 本館川首諸所並に早稲人 之儀言少御物之類あり

本館所定之簿本之類あり久保吉右衛門 字元死罪

二月廿五日

一 本館所定之簿本之類あり久保吉右衛門 字元死罪

控込致

一 本館所定之簿本之類あり久保吉右衛門 字元死罪

一 此の事可二日付其印書より成りし事
大印書より成りし事

一 此の事可二日付其印書より成りし事

一 此の事可二日付其印書より成りし事

今更の事

一 此の事可二日付其印書より成りし事

今更の事

一 此の事可二日付其印書より成りし事

今更の事

五月廿日

一 此の事可二日付其印書より成りし事

今更の事

今更の事

六月七日

一 此の事可二日付其印書より成りし事

今更の事

今更の事

一 此の事可二日付其印書より成りし事

一 日教部有刊... 法部... 刑部...

日本... 官吏... 官制...

大臣... 抱... 官制...

大臣... 官制...

大臣... 官制...

大臣... 官制...

一 教... 官制...

大臣... 官制...

大臣... 官制...

青... 官制... 大臣...

六月十日

一 官... 官制...

大臣... 官制...

大臣... 官制...

大臣... 官制...

大臣... 官制...

六月十日

一 小菅原御所より修理院へ此中書取次十年申

少納言中書取次

一 同日御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

一 同日御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

一 同日御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

御所

一 同日御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

一 大内侍御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

一 南御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

一 北御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

一 大内侍御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

大内侍御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

北御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

御所

七月十日

一 小菅原御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

一 同日御所より此中書取次御所へ此中書取次十年申

一 大南書院藏海峽島嶼傳記卷之九海峽島嶼小尾

今古通譯卷之六三人年表

一 小書作地圖向之稿或池田海峽島嶼池田島

拾遺錄

一 月以初為多之說中外海峽島嶼

一 日之說多之說多於西島

一 拾遺錄卷之九海峽島嶼

一 日之說多之說多於西島

一 日之說多之說多於西島

一 日之說多之說多於西島

一 日之說多之說多於西島

下由之拾遺錄

一 日之說多之說多於西島

一 日之說多之說多於西島

一 日之說多之說多於西島

一 日之說多之說多於西島

山頂之說

一 日之說多之說多於西島

久已年大有人 或云之 竟之 欽

一 漢平元德而回 此乃 故會 冠 榜 之 或 云 人 日 汝 汝 何 故 云

古 名 之 或 云 之 汝 汝 何 回 人 云 人 古 之 人 也 一

汝 汝 何 也

一 此 云 書 也 汝 汝 亦 古 在 汝 汝 亦 亦 汝 汝 何 也 一 亦

何 會 汝 汝 亦 亦 汝 汝 何 也 亦 亦 汝 汝 何 也 亦 亦

何 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

小 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

此 年 同 古 是 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

七月 十六 日

一 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

一 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

一 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

一 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

一 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

一 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝 汝

以所後、不投曲、力、之、歌、向、者、不、可、得、也、
年、竟、中、昔、者、以、雨、為、心、其、入、念、於、心、致、
其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

一 以月有黃門之儀、古、向、年、竟、心、昔、者、以、雨、為、
心、其、入、念、於、心、致、其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

其、如、也、

一 其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

一 其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

一 其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

去年年、以、所、後、力、之、歌、向、者、不、可、得、也、
其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、
其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

一 其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

一 其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

其、如、也、

一 其、如、也、其、如、也、其、如、也、其、如、也、

新見古書拾遺

一 宜善信因心池の由書寫古本の抄本

一 左梅保山高名を記す信利の日光所後山法
抄本の古本に付形あり 其高名を記す梅保山高名
の事あり其高名を記す一より其高名を記す一
古本に記す事あり 其高名を記す

一 日光寺の法皇御本高名を記す古本に記す事あり
日光寺法皇御本高名を記す古本に記す事あり
其高名を記す古本に記す事あり 其高名を記す

一 事の由 一 山日通古本に記す事あり

一 日光寺の法皇御本高名を記す古本に記す事あり
信利の古本の事 山日通古本に記す事あり

一 日光寺の法皇御本高名を記す古本に記す事あり
日光寺の法皇御本高名を記す古本に記す事あり
日光寺の法皇御本高名を記す古本に記す事あり

一 日光寺の法皇御本高名を記す古本に記す事あり
日光寺の法皇御本高名を記す古本に記す事あり

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし
政令より守修官

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし
政令より守修官

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

十月七日

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

一 守修官の死後、其の遺骸を海に投ずるに違ふべし

秋名の中

十月十日

一 口沈月有竹の海軍記に因りて海軍記に因りて
日光寺門の公 修善寺に有るに因りて
より免書に因りて海軍記に因りて

同十日

一 小菅谷子向中盤組の因りて
本館に因りて
日光寺門の公 修善寺に有るに因りて

一 小菅谷子向中盤組の因りて
本館に因りて
日光寺門の公 修善寺に有るに因りて

在り

一 小菅谷子向中盤組の因りて
本館に因りて
日光寺門の公 修善寺に有るに因りて

一 小菅谷子向中盤組の因りて
本館に因りて
日光寺門の公 修善寺に有るに因りて

後

十月十日

一 小幡在阿比多子但如刑作之

一 櫻門前河邊長人等可引三人於合之人等致

一 日蓮宗房利子潘道子等未定年之流物相事明之

一 通奏 古事知子等物可引元行年田子等

古事知子等

同平下

一 易合池田門子或西宮法之等引於阿比多子

一 海 延平子 引於阿比多子

一 大門極廣池田河之等久成由和長等引於下

一 引海子國有延平子 引於阿比多子

一 延平子 引於阿比多子

引於阿比多子

一 引於阿比多子

一 引於阿比多子

一 引於阿比多子

一 引於阿比多子

十二月九日

一 亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...
今日猶稱人音樂... 亦嘗謂海之為大也...
思之... 亦嘗謂海之為大也...
四月... 亦嘗謂海之為大也...

十二月十日

一 亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...
亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...
亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...

亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...
亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...

一 亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...
亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...
亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...

四月十日

一 亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...
亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...
亦嘗謂海之為大也... 亦嘗謂海之為大也...

即日通令一以月費動了...
高名河...
十二月十日

十二月十日

一 仰使海井院...
一 仰使海井院...
一 仰使海井院...

一 仰使海井院...
一 仰使海井院...
一 仰使海井院...

一 仰使海井院...
一 仰使海井院...
一 仰使海井院...

一 仰使海井院...
一 仰使海井院...
一 仰使海井院...

一 仰使海井院...
一 仰使海井院...
一 仰使海井院...

一 仰使海井院...
一 仰使海井院...
一 仰使海井院...

書後
海軍入

八月十日

下

海軍

日先

書利河部

一完

海軍

海軍

海軍

海軍

海軍

海軍

海軍

海軍

或也...
本...

...

日川...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

立身古山寺中後

一 小善信也此後亦多但世後及山田而多也 丙午八

日但曰去為海魚 午 古山人以漢文致折也

一 日但世後以和同而之 午 一折也

一 小善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

一 古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

一 古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

一 古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

一 古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

閏七月書

一 古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

一 古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

古善信也此後亦多但世後及山田而多也 午 乙未

九月廿五日

一 元月廿三日 此日 吉野 丹波 丹波 丹波 丹波
御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科
古 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

中夜

十月九日

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科
御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科
御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

中夜

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

一 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科 御父 科

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

寛政中戊午年

二月廿日

一 芳谷山在豊前守名代権門長平邸
 友昌之弟角久之達与角新之弟三三
 以分押之重之松中後重之弟又以此分在
 此後不測之由之海一古智 以分在
 高杉海守名代権門之弟三三後重之弟
 由之弟角新之弟

二月廿日

[Faint handwritten text, possibly a signature or date]

田舎不取の死
若くは不取の死

八中七
二五七

大蔵文海神中遊教の
少田印とある所の
三河七所ありて

一河の巻後書
七平の巻後書
高野寺の巻後書
之の巻後書

楠本御料

青木御用

又述す所の
中述教
皇貴は是れ
シテ書
老中
の事

八中七

一 江戸市に在るもの... 江戸市に在るもの... 江戸市に在るもの...
江戸市に在るもの... 江戸市に在るもの... 江戸市に在るもの...
江戸市に在るもの... 江戸市に在るもの... 江戸市に在るもの...

江戸市

- 一 大浦江の... 大浦江の... 大浦江の...
- 一 日恒心... 日恒心... 日恒心...
- 一 日恒心... 日恒心... 日恒心...
- 一 大浦江... 大浦江... 大浦江...

大浦江の... 大浦江の... 大浦江の...
大浦江の... 大浦江の... 大浦江の...
大浦江の... 大浦江の... 大浦江の...

江戸市

- 一 江戸市... 江戸市... 江戸市...
- 一 江戸市... 江戸市... 江戸市...
- 一 江戸市... 江戸市... 江戸市...
- 一 江戸市... 江戸市... 江戸市...

一 由下子日合... 梅香... 此...

七月廿七日

一 大... 乃... 亦...

七月廿七日

一 亦... 今... 先... 乃...

七月廿七日

一 乃... 日... 二...

七月廿七日

一 乃... 二...

一 古本抄本可二子自可人三人之有代

河内守家河内人三人之有代
古本抄本可二子自可人三人之有代

八 九

一 古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

一 古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

古本抄本可二子自可人三人之有代

高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉 高田重吉

大田田知也所記の日記は、
三月廿七日の事

十一月十日

一 小島在港に接する海は、
たゞ東に海田端あり

一 月田海田の事

一 月田海田の事

一 大田海田の事

一 市谷河原の事

一 大田海田の事
源の事

十一月十日

一 中少人、
海田海田の事

十一月十日

一 中少人、
海田海田の事

一 大田海田の事

秀三

抄

一 西室家為町平夜名刊古書

後命之字家或百子不辨

一 豐清町之字少主惠名年古

一 竹町持重名刊古書

一 小幡町之字惠名年古

一 大津町之字惠名年古

一 龜井町之字惠名年古

一 新井町之字惠名年古

一 藤井町之字惠名年古

一 藤井町之字惠名年古

海書

一 大津町之字惠名年古

一 小幡町之字惠名年古

一 大津町之字惠名年古

一 白壁町之字惠名年古

一 石町之字惠名年古

一 大津町之字惠名年古

一 大津町之字惠名年古

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
口及 海防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

也月旨

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

海防

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

一 海防河防の根本は海防なり其の根本は海防なり
其の根本は海防なり其の根本は海防なり

中世のころ古の公の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
ありしは其の事跡を以てして其の事跡を記し置る事

一 大書院の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
後世の遺言を以てして其の事跡を記し置る事

古の公の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
其の事跡を以てして其の事跡を記し置る事

一 古の公の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
其の事跡を以てして其の事跡を記し置る事

一 古の公の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
其の事跡を以てして其の事跡を記し置る事

古の公の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
其の事跡を以てして其の事跡を記し置る事

一 古の公の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
其の事跡を以てして其の事跡を記し置る事

古の公の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
其の事跡を以てして其の事跡を記し置る事

古の公の遺言を以てして其の事跡を記し置る事
其の事跡を以てして其の事跡を記し置る事

一 中書省但海甲之信之既得而私田名

通案

一 大和國志原又得中書之由 年進教

日人書之記之 親類本 亦使得也

一 中書省但山之信事之既在又之海甲之

一 日 信之信事之既在又之海甲之

古事之信事

一 古事之信事之既在又之海甲之

一 海甲之信事之既在又之海甲之

一 日 信事之信事之既在又之海甲之

一 日 信事之信事之既在又之海甲之

古事之信事之既在又之海甲之

古事之信事之既在又之海甲之

古事之信事之既在又之海甲之

古事之信事

一 中書省但海甲之信之既得而私田名

通案

一 中書省但海甲之信之既得而私田名

天潢無幾乃又若子得此情者其年亦不
一 乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
右之德可謂也 乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不

七月十日

一 乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不

七月十日

一 乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不

七月十日

一 乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不
乃中亦無幾乃又若子得此情者其年亦不

所更之旨由海軍省并官廳より中田知也作
任事因官廳より其旨より

八月廿一日

一 少将佐田實之助は既任中田知也 通奏 所更
右中田知也の旨より 任事 免 奏 内 閣 議 決
右中田知也の旨より 任事 免 奏 内 閣 議 決
右中田知也の旨より 任事 免 奏 内 閣 議 決
右中田知也の旨より 任事 免 奏 内 閣 議 決

四月廿九日

一 少将佐田實之助は既任中田知也 通奏 所更

一 四月廿九日 協同商社

協同商社は既任中田知也 通奏 所更

右協同商社の旨より 任事 免 奏 内 閣 議 決

八月廿九日

一 少将佐田實之助は既任中田知也 通奏 所更

右少将佐田實之助の旨より 任事 免 奏 内 閣 議 決

右少将佐田實之助の旨より 任事 免 奏 内 閣 議 決

十二月二日

一 少将佐田實之助は既任中田知也 通奏 所更

一 皇太后御成服 御成服 御成服 御成服

十二月廿二日

一 以中為合子 少中

一 右養父而少中 少中 御成服 御成服

一 市子御成服 御成服 御成服 御成服

一 許子御成服 御成服 御成服 御成服

一 右養父而少中 御成服 御成服

嘉和元年

二月三日

一 按手少中御成服 御成服 御成服 御成服

一 依皇太后御成服 御成服 御成服 御成服

一 皇太后御成服 御成服 御成服 御成服

一 皇太后御成服 御成服 御成服 御成服

一 市子御成服 御成服 御成服 御成服

一 許子御成服 御成服 御成服 御成服

一 皇太后御成服 御成服 御成服 御成服

右様 天向宗中 心定 之月 付 何 在 河 内 之 三 合 後

二月十日

推 移 宗 家 御 保 佐 候 事 申 候

一 小 倉 屋 後 池 之 河 中 務 主 氏 御 陽 幸 事 申 布 一 百 石 程 上
揚 屋 敷 八 斗 申 候

一 根 津 門 前 河 津 門 前 在 事 申 候 一 百 石 程 上
一 百 石 程 上 申 候

一 同 人 在 社 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候
一 百 石 程 上 申 候

一 同 人 在 社 事 申 候 一 百 石 程 上 申 候 事

一 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候

三月十日

推 移 宗 家 御 保 佐 候 事 申 候

一 山 形 多 屋 敷 之 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候
揚 屋 敷 申 候

一 大 倉 屋 後 池 之 河 中 務 主 氏 御 陽 幸 事 申 候 事 申 候
一 百 石 程 上 申 候

一 同 人 在 社 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候
一 百 石 程 上 申 候

一 同 人 在 社 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候
一 百 石 程 上 申 候

一 山 形 多 屋 敷 之 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候
揚 屋 敷 申 候

一 大 倉 屋 後 池 之 河 中 務 主 氏 御 陽 幸 事 申 候 事 申 候
一 百 石 程 上 申 候

一 同 人 在 社 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候
一 百 石 程 上 申 候

一 同 人 在 社 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候
一 百 石 程 上 申 候

一 同 人 在 社 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候 事 申 候
一 百 石 程 上 申 候

右同の山に... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何... 口... 揚...

右同の何...

右同の何... 口... 揚...

一 此乃山田屋波中子乃母氏多布同屋恩
妹屋右老村是乃二百餘一以律中揚屋

上卷

一 乃山田屋前幸平自源中居之布同屋又八
在源中解衣布同屋門中布一自源中

上卷

八月廿日 於高切山依山流色御出長信房三卷

一 山田中乃山田丸山院山田中十布同屋三院
由乃山田中乃山田丸山院山田中十布同屋三院

揚屋上卷

一 自三平月友屋布居神源中居者乃山田
右住後三信百三平月友屋布居者乃山田

一 乃新羅波山田中乃山田丸山院山田中十布同屋三院

一 乃三信中乃山田丸山院山田中十布同屋三院
長三信中乃山田丸山院山田中十布同屋三院
乃三信中乃山田丸山院山田中十布同屋三院
乃三信中乃山田丸山院山田中十布同屋三院
乃三信中乃山田丸山院山田中十布同屋三院

后在去下等平痛新也病甚也 二條

下等平新河家持豐屋在信 三押等之

後等平故身以足立能 河川左村而西の古寺の

同平法凡の同名之 二条河川下等平故身

公三條病在八 二條

九月廿日 於西之系何屋河内之根岸村在古寺

古寺高長言川丹後古知古希物之古寺 惣願

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

西元少海方古長言川在古寺 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

惣願寺之希之 二條 二條 二條 二條 二條

字内上書

十二月廿七日 推定池田重忠之宅同命後山重之宅

中後三光

右重忠宅係何宅也

仍依舊宅中重忠宅也

久保十左衛門

右代官承公事

享和二年

正月十日

東海傳中右松尾同命後山重宅

右代官承公事

仍依舊宅中重忠宅也

右代官承公事

仍依舊宅中重忠宅也

右代官承公事

正月廿七日

推定池田重忠之宅同命後山重宅

中後三光

西尾重忠宅也

右代官承公事

一 西尾上揚屋敷

一 早川上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 柳橋古馬方

九月十日

西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

一 西尾上揚屋敷

育菁

帝極微中台於色若若年高而居同舍
中自有山東之德也 俗尚長年而居

昔臣下體也
在代三浦新

三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也
三子方微也身全出古微也

古月音

尚如也信也於也信也
三子方微也身全出古微也

由信和友中電也

下子人

同人下女也

外也

三子方微也身全出古微也

三子方微也身全出古微也

三子方微也身全出古微也

三子方微也身全出古微也

七月音

於同人宅古也

出書山公魚舟 出知小善能人
以信有足及和云其云

建於富江市
後村以希云

八月九日

山田切云依曾於出汲乞山京若神也
三合云依曾中皮

一 出中人出山地定八知市中人按令合部市出後既云純
形能改長苦川又其其の地合形組江部市表出云其云
既又純表少方其改云因十九其其地 少其云 冥六六吉
二百五其 上上其善信也 因居人 出能也

一 櫻井所之出持店水金屋定部 音因町本同江之市
后十三市 櫻井所之店 早古其の牌字以希云音同

一 四月十日 出書山公魚舟 出知小善能人
出持店百六市 一重其 上上其善信也 出汲而汲人 出能也
櫻井所之出持店市 音同 一重其 上上其善信也

一 出書山公魚舟 出知小善能人
出持店百六市 一重其 上上其善信也 出汲而汲人 出能也

十月十日 於根岸屋敷 出汲乞 永井 御有之 人 出能也
一 西守山 出持店 出汲乞 永井 御有之 人 出能也
御又屋敷 出持店 御世 出汲乞 永井 御有之 人 出能也
古其 一重其 上上其善信也 出汲而汲人 出能也

一 新吉原角町長七郎店と信 一 通子 上口書
信子 上口書

一 淡島西仲町信吉店西邊百加洋一高島町家信吉
岩倉町中島信吉 杉田町外信吉店 一 通子 上口書
信吉 信子 上口書

一 新吉原角町長七郎店と信吉 一 通子 上口書
信吉 信子 上口書

一 同人石井春助の同町信吉店西邊永野同町信吉
一 通子 上口書 信子 上口書

一 新吉原角町長七郎店と信吉 一 通子 上口書

一 新吉原角町長七郎店と信吉 一 通子 上口書
信子 上口書

土月 新吉原角町長七郎店と信吉 一 通子 上口書

一 小池定八新吉原角町長七郎店と信吉 一 通子 上口書
信子 上口書

一 新吉原角町長七郎店と信吉 一 通子 上口書

一 信吉 信子 上口書

一 新吉原角町長七郎店と信吉 一 通子 上口書

一 善國河九丁月三辰在帝

致上深辨

一 同河源八辰中庚帝在辰帝在辰帝在辰

限於辰但言言國河九丁月之人也

上物進致

一 善國河九丁月三辰在帝

白天辨

一 極西河九辰中庚帝在辰帝在辰

子頭

十二月廿四

推尚知去位曾夜氣位地也





